

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

October 2015

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

翔べ 大きく 未来へ

~ ¡ Volar al futuro! ~

ユース・若手審判員宿泊研修会レポート

2015年8月22日(土)・23日(日)の両日、ユース・若手審判員宿泊研修会が開催されました。
“X年後の国際主審”を目指す(!?)希望に満ち溢れた元気な審判員14名が参加し、技術・知識の向上のため有意義な時間を過ごしました。その模様をレポートします。



目次

・ユース・若手審判員宿泊研修会レポート	・・・1～7	・決勝審判員インタビュー 千葉県サッカー選手権大会	・・・12～13
・新3級審判員実技研修会	・・・7～8	・更新講習会のお知らせ	・・・14
・第11回シニア審判員実技更新講習会のお知らせ	・・・9	・3級審判インストラクター更新講習会のお知らせ	・・・15
・女子部強化研修会	・・・9	・3級審判インストラクター認定講習会のお知らせ	・・・15
・決勝審判員インタビュー 千葉県女子サッカー選手権大会	・・・10～11	・新 KICKOFF システムでの講習会申し込み後のキャンセルに関する注意事項	・・・16

《1日目(8月22日)》

1日目は千葉市内中学校の公式戦をお借りしてフクダ電子スクエアにて実技研修を実施。ほとばしる汗は、暑さによるものなのか、緊張によるものなのか・・・。

1試合ごとに担当インストラクターが付き、試合後の反省会。多くの失敗から、たくさんのことを勉強できましたね。同じ失敗を繰り返さないことが、上達への近道です!



実技研修終了後は隣接するフクダ電子アリーナへ移動し、16:00キックオフの千葉県選手権決勝を観戦研修。トップレフェリーのレフェリングをメインスタンドの「ど真ん中」で観戦し、君たちは何を感じ、何を学んでくれたのかな?

夜間は宿舎にて大石委員長がおみえになり、グループディスカッションを行いました。君たちが考える「良い審判」とは、どんな審判なの?



ほどなくして、決勝審判団が宿舎へ来てくれました。早速受講生からの質問の嵐。そして1級審判員との記念撮影。みんないい笑顔です!

《2日目(8月23日)》

2日目は千葉市内中学校にてU-15の練習試合をお借りして、またまた実技研修を実施。昨日の反省を生かして、昨日より今日、今日より明日、とユース審判員たちはメキメキ上達していきます。将来が非常に楽しみな仲間たちです!



閉講式には再び大石委員長がいらっしゃり、締めのお言葉。そして集合写真(冒頭の写真)。みんなの充実した2日間がうかがえる表情です。

以下、参加受講生からの感想が寄せられていますので、ご紹介します。(敬称略)

伊東 猛琉: 今回の審判研修では観戦研修が行われ、高いレベルの審判を近くで見ることが出来てたくさんのことを学びました。実技研修では審判を実際に行い、自分の思ったように動けなかった。この反省点を生かし日頃から向上心を持って審判活動を行っていきたいと思います。2日間ありがとうございました。



井村 友哉: 今回より多くのことを学んだのは、自分で審判をやるのもそうですが観戦研修のほうが多く学ぶことができました。間近で審判を見ることができ、よかったです。また、宿に帰ってから試合の審判団の方との試合を改めて見ながら事細かに話すことが出来て、とてもためになりました。観戦研修のほかにも自分の審判の時にもアドバイスを頂いたので、それを参考に今後も頑張っていきたいです。2日間ありがとうございました。

亀井 環今回は4回目のユース研修となりました。初日は最年長者として引っ張っていかなくてはと思いましたが上手くできずスタッフの方に迷惑をかけてばかりでした。すみません。今回の研修では千葉県選手権の決勝を使った観戦研修がありました。普段生で見る機会の少ないJリーグ担当審判員のハイレベルなレフェリングを見ることができ、選手とのコミュニケーションやプレーの再開を促す時のやり方が『なるほどそういったやり方もあるのか』と視野が広がりました。毎年楽しく、来年も是非参加したいと思えます。県内のユース審判の方(25歳まで可)ならどなたでも参加できますので是非来年は一緒に参加しましょう!



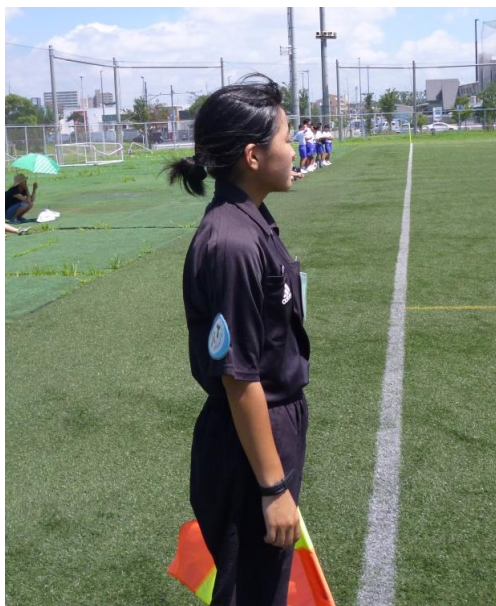
小山 悠斗今回の合宿では初めてのことでとても緊張しました。ワッペンを着け、審判服を着用しての初めての公式試合に参加させていただいたこと、そして主審を任せられたこと、人生の中で一番緊張した場面でした。最初は「ちゃんとできるのだろうか…」と不安でしたが、インストラクターの方々にアドバイスをいただいたり、副審の方に助けていただいたりして、何とか試合を終えることができました。その後にインストラクターの方に「良かったよ」と声をかけていただけたことがとても嬉しかったです。この合宿に参加させていただいたこと、とても優しいインストラクターや審判の上手な先輩方に和えたことなど、すべてとてもいい経験になりました。

齊藤 丈3年連続3回目の参加となりました。今年は、昨年までとは違い千葉県サッカー選手権決勝戦の観戦研修が実施されました。自分より上級の審判員の方々のレフェリング等を見て、自分に取り入れてみたいと思った点は取り入れもって審判技術を磨きたいと思えました。2日間本当にありがとうございました!



坂本 溪吾今回、参加者のなかで最年長者として参加させて頂きました。周りはピチピチのユース審判員ばかりでジェネレーションギャップを感じました。今回で3回目の参加ですが、毎年とても充実した研修会で、今年も大変充実した研修会になりました。普段、インストラクターの方々に自分の主審をみてもらうことなど少なく、貴重な体験になりました。同時に、自分自身の弱点、逆に良いところも沢山見つけ、大変充実した研修会でした。夜には10代ならではの話をしたり…とても楽しく研修会が進んでいきました。研修会を通し、審判員として、更には社会人、人として成長できたと感じました。同時に10代最後の私、最年長ということで、とても上から目線になってしまいますが、審判員に若い子が増えたらもっとサッカー界が盛り上がっていくのではないかと感じました。

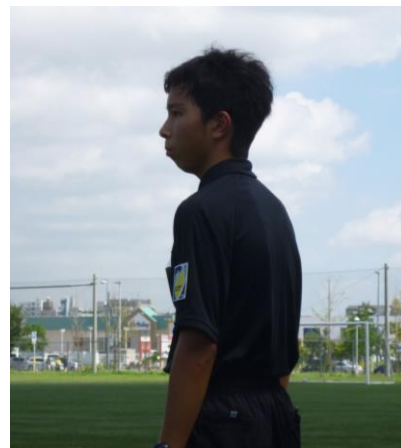
永島 淳平：まず初めに、今回のユース・若手審判員宿泊研修でお世話になりましたインストラクターをはじめ、全てのスタッフの皆様から感謝の言葉をお伝えしたいと思います。今回の研修会で、僕は新たな技術、知識、試合の流れをよく観察して予測する力など様々な審判員としての重要な要素を学ぶことができました。それによって、今まで自分の持っていた技術や知識をさらに深めることも出来たと思います。細かいところまでインストラクターの方や、同じ受講生の皆様が見てくださったことで、より一層審判員としての見方、考え方が広がり今後の課題を洗い出し、さらなる成長が出来そうだと、大いにワクワクしている次第です。さて、今回の研修会を新たなスタートとして、将来について少し目を向けてみようと思います。幸運なことに今回の研修では一種の選手権決勝の観戦を通じて、国際審判員や、1級審判員の方々の動きを細かく見て、試合後には映像を交えて直接お話を伺える機会にも恵まれました。その中で、今の自分と一級審判員の方々とのフィジカル的、理論的なレベルの開きを痛感しました。ただ、前向きに捉えれば、自分の取り組むべき課題が明確になり、現実的な将来へのプランニングが明らかになったと思います。自分は、どこを最終的な目標とし、その過程でいくつの課題をクリアしていくのか、細かく突き詰めていく大変素晴らしい機会となりました。そして、この2日間を年の近いユース審判員と過ごしてきました。彼らは同じサッカー、審判の世界に生きる仲間であり、同時に将来のライバルでもあります。僕自身、彼らから学ぶことは多し、難しい審判の世界で戦う者として尊敬しています。多くの時間と意見を共有したことにより、仲間や、敬意といった気持ちがより一層芽生えてきました。これからの千葉、それから日本のサッカー界を支える者同士これから共に成長していきたいと思います。当面の目標は、2級審判員に合格すること。数多くの試合をこなす事。フィジカル能力を高める事。在学中の柏日体高校サッカー部に審判の世界の素晴らしさを伝え、一人でも多くの仲間を増やす事。以上の事を果たせるよう、級やレベルはどうであれ、自覚と責任を胸に一つの試合、トレーニングとどう向き合っていくのかを考えて、将来は世界を舞台に仕事ができるように頑張っていきたいと思います。今回の研修は自身の経験やレベルを上げる為の場だけでなく、将来を見据えていく機会にもなりました。このような経験をさせていただいたことに心から感謝の意を込めて、僕の感想とさせていただきます。



林 麗華：「勇気」その言葉が頭の中でぐるぐる回りました。実際に実行しようと思っても難しいもので、過去の失敗を思い出してはまた一歩が踏み出せなくなってしまうような感覚が少し怖かったです。研修合宿は楽しいだけでなく、不安や悔しさもありました。少しずつ余裕を持って試合に挑めるようになってきたと自分では思いますが、まわりのユース審判員の仲間達は、そんな自分より落ち着いていて、走れて、そして「勇気」がある方達だと思いました。今思うと助けてもらってばかりだったような気がします。合宿の間で達成できたことはかなり少なかったと思いますが、この研修はゴールではなく、失敗を成功に変えるためのスタートだと思うので、次に審判をさせていただく時には、もう少し成長していきたいです。同じ時代と同じ国、県で、同世代の仲間と審判が出来ること、サッカーが出来ることって、やっぱり幸せだなと思いました。今回の研修合宿に関わって下さった皆様2日間良い思い出が出来ました。これからも勇気を持って努力していこうと思います。ありがとうございました。

藤原 陸: 1 日目は年上の方々と仲良くできるか心配で緊張していました。しかし試合の審判控え室でサッカーのことなどを話していると仲がよくなれたり、今まで知らなかったサッカーのことなどを知ることができて勉強にもなりました。参加者全員の審判が終わり、フクダ電子アリーナで公式戦の審判の動きなどを見させていただきました。経験が豊富な審判員の方々は自分と動き方も違い、とても勉強になりました。旅館についてお風呂に入ってからご飯になりました。運動をした後だったのでとてもお腹がすいていました。前回参加された方が『このご飯はすごくおいしいよ』と言っていたのでとても楽しみにしていました。3 級を持っている永島さんが『5 杯ご飯をおかわりして!』と言っていてとてもたべれないと思いましたが、ご飯があまりに美味しく、3 杯もおかわりをしてしまいました。

お夕飯がおわって、ユース審判員の方々と育成部の方々と講義をしました。『審判員として大事なことは何か』ということを 2 グループに分けて考えました。その時にも多くの方々の考えがあり、またコミュニケーションをとることができました。2 日目は研修会に参加した全員でサッカーをしました。みんなで楽しくサッカーができました。この研修会で学んだことがたくさんあり、とても勉強になりました。来年も是非参加させていただきたいです。



町田 皓:今回 2 回目の参加でした。今回も主審をやらせていただいたのですが、普段自分ができていることでもまだできていなかったり、新たに学ぶこともあり、充実した 2 日間になりました。また同年代の人とも交流をすることができ楽しかったです。今回学んだことを今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

宮原 芽久:私は、今回の研修会に参加する前は、とても楽しみでした。理由は、宿泊研修会とはどのような感じなのか、全くわからないことが多かったからです。ですが、今振り返って考えてみると楽しかったというより、改めて深く考えさせられる研修会だったと思います。インストラクターの方と私の事だけでなく、他の審判員を見てお話しする時や、審判員同士でどのようにすれば「良い審判」になれるかを考える時や、試合前の打ち合わせの時や反省会の時等に、とても濃い話をしたり聞けたりした事で、今自分に何が必要かを改めて考える事が出来ました。この 2 日間で考えた私に今必要な事は、考えて走る事です。2 日目の練習試合の主審をした時、がむしゃらに走っている事が多く、先読みをしないとイケないところや、アフターで足をかけてしまうところがあつたのに、ボールの方しか見てなくて見れなかった所がありました。また、副審と挟んでみる事が、全てのシーンで出来なかったもので、このような所を意識して走らなければ行けないと思ったからです。

難しいと思いますが、試合をたくさん経験して身につけていこうと思います。改めて考えてこれから自分がすべきことがわかったので、私は今回参加してとても良かったと思っています。また、男性しかいないかもしれないと思っていたのですが、りんりん(林 麗華さん)も参加していて安心しましたし、男性の審判員もみんな優しく、とても楽しい 2 日間を過ごせました。今回参加していた審判員は私にとって、とても大切な仲間です。審判団で協力していかないとプレイヤーに良いサッカーをしてもらうことはできないと思います。また、お互いの考えや意見を言い合うことによって、自分達が成長していけると思ったからです。最後になりましたが私はこれから、フィジカル面は自分で地道に鍛え、ルールブックをしっかりと読み、覚え、試合経験を増やして、まずは 3 級を取れるように頑張ります! 2 日間、ありがとうございました。



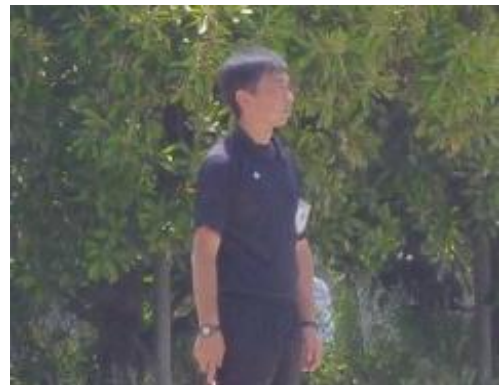


渡辺 樹:今年度に新規で審判資格を取得したので、今回が初めての参加でした。その中で、インストラクターの方に教えていただいたこと、自分で気付いたこと、千葉県選手権の審判団の方の話を聞いて感じたこと、様々な新しい発見をすることができました。そして今回、一緒に参加したユース審判員は仲間でありライバルであるということを強く感じました。他の審判員の試合を見て、「あの審判員上手だな、でも負けたくない！」と強く感じるものがあつたからです。ユース勉強会、そして今回の研修会でとても良い仲間に出会ったと思うので、様々な方々のアドバイスを参考にしながら、いい試合を作れるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

新3級審判員実技研修会

2015年5月31日、千葉県女子リーグ(2部)をお借りして新3級審判員実技研修を開催しました。一層腕に磨きをかけられ益々のご活躍を期待しております。以下参加者からの感想文です。(敬称略)

上中 圭(市川市):本日はお暑い中、ありがとうございました。私的には4種の市大会しか経験がなかったので打合せ、反省会等刺激になる体験でした。改めて研修を受けてみると自分の甘さがマザマザと思い知らされます。ですが！青いワッペンをつけてるからには、次に皆様にお会いできる時にはチョットは成長しているはずです！多分！



中野 準之(柏市):新3級審判員研修会を終えてほっとしているのが正直な感想です。なぜなら、今まで4種以外の審判を経験したことがなかったため、自分がきちんと審判として対応できるのか、研修の日まで不安でいっぱいでした。しかし当日会場についてみると、担当インストラクターの右田さんをはじめ、皆さんがあたたかく迎えていただいたことが、研修当日まで抱えていた緊張や不安を取り除いていただいた気がします。それでも研修中は気持ちがいっぱいいっぱいで満足のいく内容ではありませんでしたが、試合後の反省会で厳しく、詳しく丁寧に指導していただいたことを今後の審判活動に、いかしていければと思います。まだまだ3級審判としては未熟ですが、たくさんの経験を積んで、3級審判としてふさわしくなれるよう、審判を楽しめるようこれからも頑張ろうと思います。研修会でご指導いただいたインストラクターの皆様、本当にありがとうございました。

森中 淳(松戸市):研修会は、3 級審判として初の公式戦でしかも主審ということもあり、前日から少し緊張していました。今思えば、「3 級だからうまくジャッジしなければならない」と勝手に気負っていただけですね。当日(5/31)は、13:20 開始の試合を担当させて頂きました。試合会場は、茜浜グラウンド。天候は快晴で気温 30℃以上と体力が持つか少し心配でした。試合開始前にマッチミーティングがあり、これも初めての経験です。マッチミーティングの後に、審判打ち合わせを行い、同じ新3級審判の方々とオフサイドで副審がフラッグを上げたけど、主審が気づかなかった場合の対応方法や得点時の対応など、なるべく綿密に認識共有を行いました。後半開始前、交代選手がフィールドへ入場する為には、主審の承認を得なければならないのですが、完全に失念していました。試合終了後の反省会でも指摘があり、今後同じ失敗をしないようにしなければなりません。後半の半ばでの飲水タイム。この時、私も水分を補給するべきでした。ジャッジに影響は出ませんでした。集中力を欠くタイミングがあり、この点も反省です。接触するような危険なファウルは少なく、怪我人も出なかったのでクリーンで良い試合だったと思います。反省会では、上述した内容に加え、後半最後の方で勝っているチームの選手が遅延行為を行ったことを見逃していたことに気づかされました。私は、まだまだだと反省しつつ、今後の1試合1試合を大切に、選手と共に私も成長していけるようがんばりたいと思います。



最後に一緒に審判をした方々、当日関わって頂いた運営、審判委員の方々、ありがとうございました。



高木 功(市原市):私は20年ほど前にサッカーから離れたこともあり同時期に4級審判も失効しました。しかし3年ほど前にサッカー活動を再開し、それを契機に2014年6月に4級審判を再取得しました。取得後は自身の所属チーム(1種)および指導者として所属しているフットボールクラブ(4種)を通じて審判活動を積極的に行い、2015年4月に実施された3級審判昇級審査に合格することが出来ました。研修は5月31日に習志野市茜浜グラウンドで開催された千葉県女子サッカーリーグ(2部)を使用させて頂き、私はA1を担当しました。今回は自分の思う、考える副審のあるべき姿が本当に正しいのか?を見て頂きたく、いつも通りの私のスタイルで行いました。試合終了後にインストラクターの右田さんよりフォローアップが有り、フラッグの持ち方、持ち替え方、走り方、基本の姿勢、オフサイドのパターンによるフラッグアップタイミングなどを修正して頂きました。また、今回の研修では「審判も4人で一つのチームである」ということを再認識しました。今後はこのことを念頭に経験を積んで選手、チームスタッフ、同僚審判から信頼されるレフリーになれるようがんばりたいと考えています。今回の研修では我々審判チームインストラクターである右田さん及び他の試合のインストラクタであった稲葉さん、櫻田さんからも数多くのアドバイスを頂きましたことに対しまして改めて御礼申し上げます。

柳平 辰(松戸市):4thを担当させて頂き、ベンチコントロール・ボールの管理・交代手続きをスムーズにできるように心懸け、主審の援助することに集中することを目標とし、試合に臨みました。普段使用しない道具や、慣れない交代手続きに戸惑い、ブッキングに集中しすぎて主審の合図に気付かずボールを渡すのに遅れてしまう場面もありましたが、なんとか最後まで援助することに集中できたと思います。試合後のミーティングでは援助に努める姿勢が良かったと評価していただきました。今後もこの緊張感を忘れずに、毎回試合に臨みたいと思います。



第11回シニア審判員実技更新講習会のお知らせ

一県下各地域で活動されている審判員募集！

4級を取得したばかりで、もう少し競技規則の理解を深めたい・・・
子供たちの試合でこんなことがあったが、再開方法がわからなかった・・・
競技規則の改正をもっときちんと理解したい・・・
さらに上級を目指したい・・・

そんな方々の各レベルに応じた研修を実施します！

日時:10月31日(土)～11月1日(日)宿泊研修(単日参加不可)

対象:年齢35歳以上～上限なし

資格:3級及び4級取得者(初心者の方も女性も大歓迎です)

場所:フクダ電子スクエア(10/31)、千葉市内中学校(11/1)

宿舎:篠原旅館(千葉市中央区松波2-2-8)

費用:更新費用(3級)¥7,300 (4級)¥6,500

※宿泊代は、別途¥8,000(4食付)を当日集金いたします

内容:昼間は実際に8人制の大会とU-15の試合を使用した実技研修や主審副審の動き方についてのトレーニング。
夜間は映像を使った座学研修を予定しています。

申込:webサイトから各人にてお申込み下さい(締切:定員に達し次第)

「更新講習会申込」から「35歳以上限定」シニア更新講習会を選択

※今年度4級新規取得または3級昇級した方で、更新の必要が無くても参加を希望する場合は、下記問合先までご連絡ください。

問合先:審判委員会/育成部 右田 智也(みぎた としや)

TEL: 090-3691-4134 Mail: t.migita@ab.auone-net.jp

この機会に他地域の方々と交流を深め、向上心を刺激しあってみてはいかがでしょうか！お申込み、お問い合わせ、お待ちしております！

女子部強化研修会

8月22日(土)23日(日)に、毎年恒例の更新研修を兼ねた強化研修会を女子部主催で開催しました。例年通り、香取市サッカー協会様の御厚意により、第九回香取市招待ジュニアユースサッカー交流大会を利用した研修会となりました。22日は6名、23日は10名の研修生が参加し、競技規則テストを行った後、実技研修を行いました。各地の中学2年生を中心としたチームが集まり、2日間すばらしい試合を繰り広げました。女子審判員も、さらに良い試合になるよう、また選手に負けないよう、よく走り近くで判定することを心がけながら臨みました。2名のインストラクターによる厳しくも温かい御指導により、今後も審判活動に意欲的に取り組む気持ちを新たにしました。

このようなすばらしい試合を提供していただきました、香取市サッカー協会、各チームの関係者の皆様に深く感謝いたします。

また女子部では、今後も初心者研修と強化研修を計画しております。審判委員会HP等でお知らせいたしますので、興味のある方は御参加お待ちしております。



(写真は2014年11月実施の女子部初心者研修会より)

平成27年度 千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦

2015年7月26日(日)13:00キックオフ ～ 東総運動場 ～

順天堂大学女子蹴球部 0(0-1、0-0)1 オルカ鴨川FC

主審:上田千尋氏、副審:池田朋代氏、竹内真理氏、第4の審判員:宍浦智子氏 (文中敬称略)



(左から 竹内氏、宍浦氏、上田氏、池田氏)

Q. 決勝審判に指名された時の気持ちは如何でしたか?また、決勝の日を迎えるまでにどのような準備をしてきたか教えてください。

上田:率直にこのような機会を頂けて嬉しかったです。

また、決勝の両チームはとても運動量が豊富なので走り負けないように走り込みを重点的に行いました。

池田:決勝当日までに体調を崩したり、怪我をしないように最高のコンディションで決勝に臨めるよう気を付けました。

暑い時期の試合なので、日々のトレーニングで気温が高い昼間に走る時間が取れるように時間のやりくりをしました。

竹内:決勝審判の依頼を受けた時は緊張しましたが、同時に3級なのに機会を頂けたことに感謝し、決勝当日まで体調を崩さないように気を付けました。

仕事があるので朝か晩にストレッチを含め、日に1時間半位トレーニングの時間を取って、決勝当日まで準備しました。

宍浦:主審、副審に何かトラブルがあった時は代わりに務められるように万全の準備をしてきました。また、スムーズな試合運営、ピッチ外のこと、ベンチコントロールが出来るようにイメージトレーニングもしました。



Q. どのような目標や思いで今日の試合に臨みましたか？

上田:運動量を多くして争点の近くで監視・判定が出来るように、また両チームの選手や関係者等が納得してもらえる平等な判定を心掛けました。

池田:アイコンタクトを積極的に行い主審が安心してレフェリング出来るように、そして審判団として決勝戦を楽しみたいと思いました。

竹内:とにかく足を引っ張らないよう、基本に則ったレフェリングを心掛け、次のプレーを予測して動き出しを早くしようと考えていました。

宍浦:ベンチコントロールや交代手続きなどピッチ外のことを万全にし、主審・副審がピッチ内の事象に集中出来るように心掛けました。

Q. 決勝戦を振り返っていかがですか？

上田:ピッチの芝が深くて、前半は苦戦しましたが後半になって徐々に慣れてきて、試合終了まで走り切ることが出来ました。

池田:反省点は主審との差の違いがあったことです。

また、A1の走るコースがボコボコしていたので走り辛かったです。

竹内:大舞台の経験が浅く、主審との差の違いもありましたが今、持てる力を最大限に発揮できたと思います。

宍浦:ベンチも穏やかでスムーズな運営が出来たと思います。

A1ともう少し交代手続き時にアイコンタクト等、コミュニケーションが取れると良かったです。

Q. 千葉県で審判活動されている方に一言お願いします。

上田:私は現在学生で、審判活動の時間があまり取れませんが周りの人たちに支えられて審判が出来る事に感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに活動していきたいです。

池田:女子選手のレベルが上がっているので女子審判もレベルを上げる事が大切だと感じています。

来年は今回決勝審判を担当した4名以外の女性審判員が審判技術を向上して決勝審判に選ばれることを楽しみにしています。

竹内:若い人にもっと審判を楽しんでほしいと思います。審判を楽しみと思う人は少ないかもしれないけど、やってみると意外と楽しいし、サッカー経験者が審判として入ってくれれば選手の気持ちが解って、簡単にゲームを止めずにタフなプレーを引き出してあげられると思うのもっと活躍してほしいと思います。

宍浦:女性の審判員がもっと増えてほしいと思います。

なでこの活躍で女子サッカーが認知されてきているので、選手も審判も協力して女子サッカーを更に盛り上げたいです。



当日は気温30℃を超える暑い中、4名とも審判員として最高のパフォーマンスをし、審判団としてもスマート、スムーズな試合運営がされていました。

決勝を担当した4名の審判員には試合後の貴重な時間を頂戴し、ありがとうございました。そして大変お疲れ様でした。

第20回千葉県サッカー選手権大会決勝戦兼第95回天皇杯千葉県代表決定戦

2015年8月22日(土) 16:00キックオフ ~ フクダ電子アリーナ ~

プリオベッカ浦安 1(1-0、0-1、0-0、0-1)2 順天堂大学

主審:清水勇人氏、副審:五十嵐泰之氏、桜井大介氏、第4の審判員:平野裕大氏(文中敬称略)



(左から 桜井氏、平野氏、清水氏、五十嵐氏)

Q. 決勝戦でのテーマ、目標があれば教えてください。

清水 :選手がプレーに集中出来る環境作りを一番に心掛けました。

五十嵐 :レフェリーのテーマを理解し、レフェリングの手助けが出来れば良いなと思いました。

桜井 :レフェリーが選手たちに対応したり、良いゲームを作っていくその為に手助けをしつつ、自分のやるべきことをしっかりやって行こうと考えていました。

平野 :選手がプレーに集中出来る環境作りと外から主審、副審のフォローとフィールド外のあらゆる事象の対応をやりきることを心掛けました。



Q. 決勝戦までにどのような準備、トレーニングをしてきましたか？

- 清水 : 普段と変わらず長距離走、インターバル走、体幹トレーニング等を行って、コンディションを整えました。
- 五十嵐 : 試合が続いていたので決勝前にしっかり体をリカバリーし、延長戦も視野に入れて集中力が切れないように身体と頭の準備をしました。
- 桜井 : いつも通り、週の半ばにきつめのトレーニングをして、体のケアをして臨みました。
- 平野 : 第4の審判はやる機会が少ないので、ベンチコントロールとしてやらなければならない事をもう一度競技規則を見ながら確認して臨みました。

Q. 決勝戦を振り返っていかがですか？

- 清水 : アドバンテージを取った方が良かった所があったので、選手の影響度や意図や周りの状況を瞬時に判断しなければいけない場面で、もっと見極めの引き出しを増やして判定した方が良かったかなと思いました。
- 五十嵐 : オフサイドについて難しいシーンがあったので集中力を維持するのに苦労しました。レフェリーとのアイコンタクトも取れ、スムーズに試合運営が出来たので良かったと思います。
- 桜井 : レフェリーとアイコンタクトがよく取れたので、ファールサポートも特に無く、ラインジャッジもシンプルに出来たので、とてもやり易かったのですが五十嵐さんが言っていた通り、オフサイドの判定で難しい場面がありました自分としてはやりきることが出来ました。
- 平野 : 今日の試合は延長戦まで行ったので、後半の終了間際や延長戦に入ってから選手が足をつって交代する場面があって、ドクターや担架そして交代が重なった時に一つひとつやる事が重要ですが迅速に行うことも重要なので、A1の五十嵐さんと連携を取りながらスムーズに出来たので良かったです。もし、このような場面において一人で対応しなければならなくなったときは、まだ不安なところもあるのでこれからの課題かなと思います。



Q. 千葉県で審判活動されている方に一言お願いします。

- 清水 : 選手がプレーに集中出来る環境作りが出来るように、試合終了後は自分自身を振り返って反省し次の試合に繋げてチャレンジしてもらいたいと思います。千葉県のサッカーが更に活性化するようにお互い頑張りましょう!
- 五十嵐 : 普段のリーグ戦がこのような県代表決定戦に繋がってくると思いますので、普段のリーグ戦をより良くコントロール出来るようにレベルアップを目指して一試合、一試合一緒に頑張りましょう!
- 桜井 : どのカテゴリーの試合でも選手やチームの為に努力して行きましょう。僕も頑張ります!!
- 平野 : このような試合の割当てを頂く事が出来て幸せだと思います。桜井さんが仰った通り一試合、一試合を大切に且つひた向きに努力していく事が重要だと思っていますので、お互いに頑張りましょう。

千葉県内大会でトップの試合を担当した4名の審判員に取材させていただきました。決勝戦は90分では決着がつかず延長戦までもつれ込む中、集中力や運動量が落ちる事無く、ジャッジされました。試合後のお忙しいところ時間をいただき、ありがとうございました。そして益々のご活躍をお祈りいたします。

更新講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月13日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	90名	有り	一般: ¥6,000 ユース: ¥1,000
2016年 2月21日 (日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	160名	有り	一般: ¥6,000 ユース: ¥1,000

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月13日 (日)	13:00～ 13:30	13:30～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (3～4研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	90名	有り	一般: ¥6,800 ユース: ¥1,500
2016年 2月21日 (日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	90名	有り	一般: ¥6,800 ユース: ¥1,500

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2016年 1月24日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～3研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	60名	有り	一般: ¥14,500

更新講習会のお知らせ(フットサル)

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

3級、4級審判員対象実技更新講習会

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
11月22日 (日)	9:00～ 9:30	10:00～ 15:00	実技	スポーツコミュ ニティー浜野	浜野駅	3級 10名 4級 20名	有り	Web参照
12月12日 (土)	13:00～ 13:30	14:00～ 16:30	観戦 研修	浦安体育館	舞浜駅	4級 50名	有り	Web参照

カテゴリー審判員研修会

12月中に開催予定

帯同審判員対象フォローアップ研修会

2015年11月29日(日)10:00～15:00 スポーツコミュニティー浜野

3級審判インストラクター更新講習会のお知らせ(サッカー)

2015年度第2回のサッカー3級インストラクター更新講習会を開催いたします。2016年度も引き続きインストラクターとして活動を希望される方は必ず受講して下さい。

なお、更新対象者の申し込みはWebサイト「KICKOFF」からとなります。申込期間・講習会場等の詳細については、後日、該当者宛に直接郵送でお知らせいたします。

- ◆ 開催日時 2015年12月中・下旬の日曜日または祝日
- ◆ 場 所 後日連絡
- ◆ 講習形式 講義(予定)
- ◆ 講習会費 審判資格有 ¥4,000 審判資格なし ¥6,500
(第1回更新講習会で既に更新済の方は無料)

※今後の予定 第3回更新講習会 2016年2月下旬又は3月上旬 3級インストラクター認定講習会と兼ねて実施します。



3級審判インストラクター認定講習会(試験)のお知らせ(サッカー)

2015年度の3級インストラクター認定講習会(試験)を実施いたします。
受験を希望される方は下記により申し込みをして下さい。

【第1次審査】書類審査

- ◆ 応募資格 年齢35歳以上で、3級以上の審判員歴5年以上
- ◆ 応募要領 受験申込期間 2015年12月16(水)から12月31日(木)まで
上記期間内に、Webサイト「KICKOFF」から申し込みをしてください。
また、下記の書類を郵送で12月31日(木)までに提出してください。(必着)
住所、氏名、生年月日、電話番号、E-mailアドレス、3級以上の審判員歴(3級取得年月日・年間試合数等)を記載したものに、生年月日を証明する書類のコピーを添えて下記へ送付して下さい。
- ◆ 受験費用 2,000円

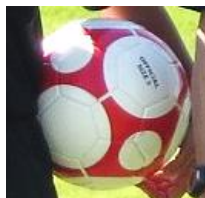
《第1次審査 書類送付先》

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台1-4-1-2-1705 岡田 滋 宛

【第2次審査】認定講習会の受講及び認定テスト

- ◆ 開催日時 2016年2月下旬又は3月上旬の日曜日
- ◆ 場 所 後日連絡
- ◆ 講習形式 講義及びブラクティカル(終日) 講習会終了後に認定テストを実施
- ◆ 合否基準 ①講習会の受講(途中参加・退出は認めない) ②認定テスト(80点以上)
- ◆ 合否判定 【3次審査】の結果等を総合的に判断し、審判委員会で決定する。
- ◆ 認定日 2016年4月1日

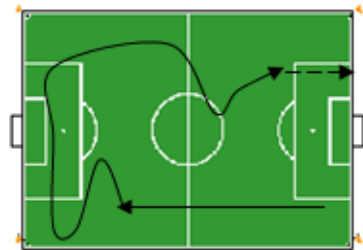
なお、認定試験に合格した者については、認定初年度において、新任インストラクター研修会を受講後、インストラクター部の指導の下、講義講習会又は実技講習会の講師を担当することとなります。



新KICKOFFシステムでの講習会の申込後のキャンセルに関する注意事項

2015年度よりKICKOFFシステムがさらにリニューアルされました。

現在、更新講習会を受講いただくには、全てこのKICKOFFシステムから申し込みいただくこととなります。講習会の申し込みを完了するためには、翌年度の登録費(日本サッカー協会、千葉県サッカー協会等)及び受講料を納めていただく必要がありますが、翌年度の登録費及び受講料を納めた後に、なんらかの理由によって、その講習会を受講できなくなった場合、申し込んだ講習会をキャンセルしなければ次の講習会へ申し込みいただくことができません。しかしながら、講習会に申し込みを行いその講習会の受講料支払い期限が過ぎた後にキャンセルを希望される場合、その申し込みになった講習会が開催され参加申し込みをされた方々の合否が確定しシステムへの登録作業が終了するまでキャンセルを行うことができず、したがって、次の講習会に申し込みすることができないシステムの仕様となっております。年度末近くにおける講習会に申し込まれ、ご都合により申し込みされた講習会をキャンセルのうえ別の講習会に申し込まれようとしても、キャンセルできず新たな講習会への申し込みが行えないため、最悪、失効となるケースも考えられますのでご注意ください。翌年度の更新を希望される場合には、期間に余裕を持って更新講習会を受講いただきますようお願い申し上げます。



広告主さま募集しています

- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - 募集枠は、1枠（1枠タテ55mm×ヨコ85mm）。
 - この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは（公社）千葉県サッカー協会事務局（TEL 043-310-4888）にご連絡をお願いいたします。



編集後記

厳しい暑さも峠を越したと思ったら、秋を飛び越え俄かに冬がやってくるのではないかと疑いたくなるような気候に驚かされましたが、皆さん体調など崩しておられませんか？

“2020年スポーツの祭典”において、スポーツの枠を超えて競技場やエンブレム等物議を醸しておりますが、我々の活動においては、常に『一点の曇りもない』pureな心で臨み、結果がどうであれ誰もが納得して受け入れてもらえる試合を目指したいと思います。（Atsu）

レフェリーニュース編集員

木川 綾

E-mail : girasole@gol.com

長谷川 鉄哉

E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp

唐崎 敦好

E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp

染田 洋

E-mail : spzg2dw9@tea.ocn.ne.jp

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>